



●真剣な表情で練習に取り組む部員たち



広報サポーターだより

一人ひとりが輝くバンドを目指して活動

愛知県立成章高等学校吹奏楽部を訪ねて

皆さんこんにちは。広報サポーターの永井和子です。私はこの時期になると、楽しみにしていることがあります。それは、成章高校吹奏楽部の定期演奏会です。今回は、間近に迫った定期演奏会に向けて、一生懸命練習している吹奏楽部を訪ねました。



広報サポーター
永井和子

成章高校吹奏楽部とは

成章高校吹奏楽部は1961年に創部された、県下でも最も古い歴史を誇る吹奏楽部の一つで、部員数は現在81名(2月末)です。部訓の『☆皆星☆』は「一人ひとりが輝くバンドを目指す」という意味で、地域に根ざした音楽活動を大切にしているとのこと。部員の皆さんは、聴く人の心をふるわせるあたたかい音楽づくりを目標に、練習に励んでいます。夏の吹奏楽コンクールでは東海吹奏楽コンクールに11回出場、全国高等学校総合文化祭には2回出場、定期演奏会のほかに学校行事や田原市音楽祭などでも活躍されています。また昨年は、初めて渥美病院の病院祭でも演奏を行いました。

練習には、顧問の先生をはじめ、吹奏楽部を巣立った先輩たちも時々かけつけてくれて指導しているそうです。部員たちは多くのことを学んでいくことができます。また、顧問の鈴木孝育先生については、「進路指導主事の先生でもあり、卒業後の進路のことについても親身になって相談ののってくれるんですよ」と、部員の方が教えてくれました。

平成21年度吹奏楽部部长 小川紗也香さんから「顧問の先生や先輩方、家族、地域の皆さんのおかげで3年間やってこれたと思います。私たちは感謝の気持ちを胸に、定期演奏会を成功させ、皆さんに喜んでいただける演奏をしたいと思っています。」

